

防鳥ネットの効果的な使い方

カラスのごみ被害を防ぐ効果的な方法の一つに防鳥ネットの活用があります。本市においても多くのご家庭やごみステーションでお使いいただいています。しかし、使い方によっては、カラス被害を防げていない場合もあります。

せっかく防鳥ネットを使っているのにごみ被害を防げていない例や効果的な使い方を写真で紹介します。

効果的な例



おもり（ワイヤー）付きのネット



棒型のおもり付きのネット



ボックス型のネット



すき間なくきれいに包み込んでいる

効果が期待できない例



防鳥ネットのサイズが小さく、ゴミ袋を覆いきれていない



防鳥ネットのサイズが小さかった、もしくはネットをただ被せていただけ



ネットを被せているが、横にすき間がある



四方を囲んでいるがすき間がある

たとえ防鳥ネットを使用しても、サイズが小さかったり、すき間があると、カラスは簡単にごみを引っ張り出してしまいます。防鳥ネットを使用するときは、防鳥ネット内にきっちりと納め、すき間ができないようにしましょう。また、風などで飛ばされないように、おもりを使用するなどの工夫をお願い致します。